

本間 敏行

〔ふらの未来の会〕

道路整備対策は

問 市道は未改良の道路が多いため排水の状態が悪く、近年の局地的豪雨から、市民の生命と財産を守るために、道路改良による舗装、排水整備の対策は。

答 市道の側溝等の道路排水施設の整備については、老朽化及び近年の気象状況変化による局地的な大雨により、側溝が溢れる箇所が増えていることなどから、地域からの整備要望も多く、早急な排水対策が必要と考えている。



桂木町市道

観光振興計画の具体的施策は

問 後期5カ年の、観光振興計画の観光戦略で掲げている、目指す姿の早期の具体化・実現に向けて、富良野市と市民の役割について具体的施策はあるか。

答 観光振興計画の基本的な姿勢のもと①滞在型・通年型観光の推進②受入環境整備③観光客の誘客④持続可能な観光振興を4つの柱に、関係機関・団体と連携し全市的に取り組み、市民の皆さんの生活や活動自体が、観光客のおもてなしにもなる。

国際理解教育の取り組みは

問 今後、子どもたちに対して、英語助手を活用した英語教育の取り組みについては。

答 外国語活動推進委員会を設置し、指導実績のある中学校英語教諭をコーディネーターとして配置しているが、小学校5、6年生の学級担任を中心に、外国語指導助手の助言も受け、経験の少ない外国語活動の、学習内容等の研鑽につとめる。

◇その他の質問▽
ラスパイレース指数について

広瀬 寛人

〔ふらの未来の会〕

富良野市観光振興計画の取り扱いは

問 前期の総括と課題は。

答 外国人観光客は震災以前の数値に戻っていない。修学旅行も減少しており、新たな体験メニューの提供や売り込み強化が重要。富良野の特色を活かした具体的な滞在プログラムの発信不足、インフォメーションセンターのワンストップサービスの充実、市民・観光関係者・ガイドなどの人材育成が課題。

問 観光地づくり推進事業の取り組みは。

答 観光税等の導入は、総合計画後期5カ年の中で検討しBIDやCIDは今後の参考として情報収集に努めたい。

問 24時間対応・バリアフリートイレに対する見解は。

答 通年型24時間対応トイレは、治安上に課題があり夜間を閉鎖した経過があるが、観光客や地域住民の利便性を高めるこ

とは重要で課題も多いことから状況に照らし合わせて検討したい。バリアフリートイレについても重要と認識しているので公共施設と民間施設も含めた現状の調査をしたいと考える。

防災・防犯対策

問 ゲリラ豪雨対策は。

答 時間降雨量22ミリを整備水準として、道路排水整備している。地盤が低いなど浸水に対する安全度が低い地区は、優先的に排水整備を進める検討が必要と考える。



豪雨時の排水路

問 空き家対策は。

答 調査を実施し14戸を把握し適切な管理に向けた課題整理を行っている。